

平成 30 年 4 月 2 日
観 測 部
地球環境・海洋部

3月の天候

2018年(平成30年)3月の日本の天候は、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、北・東・西日本で気温がかなり高くなりました。降水量は北日本と東日本太平洋側でかなり多くなりました。日照時間は東日本、西日本、沖縄・奄美でかなり多くなりました。

2018年(平成30年)3月の天候の特徴は以下のとおりです。

気温は北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった日本付近は寒気が南下しにくく、南から暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、全国的に気温が高く、北・東・西日本ではかなり高かった。東日本の月平均気温は平年差+2.5 となり、1946年の統計開始以来3月として1位の高温となった。

降水量は北・東・西日本で多く、北日本と東日本太平洋側ではかなり多かった。北・東・西日本では、南から湿った空気が流れ込みやすく、降水量が多く、北日本と東日本太平洋側でかなり多かった。東日本太平洋側の月降水量は平年比163%となり、1946年の統計開始以来3月として1位の多雨となった。

日照時間は全国的に多く、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり多かった。移動性高気圧に覆われやすく、寒気の影響も弱かったため、全国的に日照時間が多く、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり多かった。月間日照時間は、東日本日本海側で平年比141%、西日本日本海側で平年比137%、沖縄・奄美で平年比171%となり、いずれも1946年の統計開始以来3月として1位の多照となった。

[別紙\(概況、統計値等\)\[PDF形式:419KB\]](#)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 道城(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4156) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406